

若者が働きたい宮城へ



女性就農増へ体験ツアー

「ともに創ろう 躍進する宮城の未来」をテーマに、県政紹介シリーズとして、県民が農業に関心を持ち、女性就農を増やすための体験ツアーを開催します。

県は、女性がこのように農業現場で生き生きと働いている姿を目撃するようになってきました。そしてキラリと輝いている女性たちに接していただくことが、女性や若者のさら



首都圏に流出する若者が相次いでいる一方で、逆にこの数年、大都市から地方に活躍の場を移す若い世代が増えています。こうした若者の中には、新規に農業に取り組む人たちも少なくありません。宮城県内では特に、農業を営む女性がヨウケルトやケキ、ワインなど加工品作りや農家

「キラリ」のキラリと輝いている女性たちに接していただくことが、女性や若者のさら

レ스토랑の経営に挑戦する姿が目立つようになってきました。県は、女性がこのように農業現場で生き生きと働いている姿を目撃するようになってきました。そしてキラリと輝いている女性たちに接していただくことが、女性や若者のさら

首都圏に流出する若者が相次いでいる一方で、逆にこの数年、大都市から地方に活躍の場を移す若い世代が増えています。こうした若者の中には、新規に農業に取り組む人たちも少なくありません。宮城県内では特に、農業を営む女性がヨウケルトやケキ、ワインなど加工品作りや農家



これから就職の時期を迎えるのはZ世代と呼ばれる10代から20代前半の若者が中心です。この世代の人たちは多様性を尊重し、趣味を大切にすることがあります。ある民間機関の調査結果では、若い女性の首脳層への就職理由として「自分の夢、やりたいことの実現」

仕事も推し活も両立可能をPR

宮城県の推計人口は2003年の約37万人をピークに減少が続いており、県内総生産の減少や地域活力の低下が懸念されています。転出超過は特に20代で目立っており、県内に進学しても卒業後、就職などで県外へ転出する傾向が強く見受けられます。このため県は、若い世代に宮城県内で就職して、その後も住み続けてもらえるよう、若者や女性に選ばれる就職環境づくりを推進する取り組みを始めました。

「キラリ」のキラリと輝いている女性たちに接していただくことが、女性や若者のさら

レ스토랑の経営に挑戦する姿が目立つようになってきました。県は、女性がこのように農業現場で生き生きと働いている姿を目撃するようになってきました。そしてキラリと輝いている女性たちに接していただくことが、女性や若者のさら

首都圏に流出する若者が相次いでいる一方で、逆にこの数年、大都市から地方に活躍の場を移す若い世代が増えています。こうした若者の中には、新規に農業に取り組む人たちも少なくありません。宮城県内では特に、農業を営む女性がヨウケルトやケキ、ワインなど加工品作りや農家

「推し」を応援する活動は「推し活」と呼ばれますが、宮城県は首都圏へのアクセスも便利で多くのアニメの聖地になるなど、「推し活」に適した地域性を持っています。こうした地域性を活かして、就職先として宮城県を志す若者や女性、特に学生に発信しています。

興味と仕事を両立できる県内の企業をPRし、若者定着を図ろうと、仙台市青葉区大町の複合施設「CROSS B PLUS」で8月24日に開催された「みやぎ推し活フェスティバル」(県主催)。

「キラリ」のキラリと輝いている女性たちに接していただくことが、女性や若者のさら

レ스토랑の経営に挑戦する姿が目立つようになってきました。県は、女性がこのように農業現場で生き生きと働いている姿を目撃するようになってきました。そしてキラリと輝いている女性たちに接していただくことが、女性や若者のさら

首都圏に流出する若者が相次いでいる一方で、逆にこの数年、大都市から地方に活躍の場を移す若い世代が増えています。こうした若者の中には、新規に農業に取り組む人たちも少なくありません。宮城県内では特に、農業を営む女性がヨウケルトやケキ、ワインなど加工品作りや農家

「推し」を応援する活動は「推し活」と呼ばれますが、宮城県は首都圏へのアクセスも便利で多くのアニメの聖地になるなど、「推し活」に適した地域性を持っています。こうした地域性を活かして、就職先として宮城県を志す若者や女性、特に学生に発信しています。

興味と仕事を両立できる県内の企業をPRし、若者定着を図ろうと、仙台市青葉区大町の複合施設「CROSS B PLUS」で8月24日に開催された「みやぎ推し活フェスティバル」(県主催)。

「キラリ」のキラリと輝いている女性たちに接していただくことが、女性や若者のさら

レ스토랑の経営に挑戦する姿が目立つようになってきました。県は、女性がこのように農業現場で生き生きと働いている姿を目撃するようになってきました。そしてキラリと輝いている女性たちに接していただくことが、女性や若者のさら

首都圏に流出する若者が相次いでいる一方で、逆にこの数年、大都市から地方に活躍の場を移す若い世代が増えています。こうした若者の中には、新規に農業に取り組む人たちも少なくありません。宮城県内では特に、農業を営む女性がヨウケルトやケキ、ワインなど加工品作りや農家

「推し」を応援する活動は「推し活」と呼ばれますが、宮城県は首都圏へのアクセスも便利で多くのアニメの聖地になるなど、「推し活」に適した地域性を持っています。こうした地域性を活かして、就職先として宮城県を志す若者や女性、特に学生に発信しています。

興味と仕事を両立できる県内の企業をPRし、若者定着を図ろうと、仙台市青葉区大町の複合施設「CROSS B PLUS」で8月24日に開催された「みやぎ推し活フェスティバル」(県主催)。

企画 宮城県広報課 ■ 問い合わせ先 宮城県農業振興課 022(211)2836 宮城県雇用対策課 022(211)2772

県からののお知らせ

県職員用パソコン画面への広告の募集

県職員が使用するパソコン画面に表示される広告を募集します。

- 募集要項公表/10月7日(金)
- 募集対象/12月～令和5年3月掲載分
- 広告掲載料/1カ月当たり5万5千円

※申し込み方法は詳しくは、下記へお問い合わせください。

◎デジタルみやぎ推進課 ☎022(211)2471

助産師による妊産婦電話相談

県は、妊娠・出産・産後の生活などに不安を抱える妊産婦の皆さんに相談に応じるため、助産師による電話相談を行っています。

- 相談電話/☎090(1060)2232
- 受付時間/毎週月・水・金曜日午後1時～7時(いずれも祝日・年末年始を除く)
- ◎子ども・家庭支援課 ☎022(211)2633

都市計画変更の説明会

●内容/仙台南宮城都市計画区域区分の変更

- 日時/10月13日(木)午後7時～
- 場所/岩沼市役所1階大会議室
- ◎都市計画課 ☎022(211)3134

屋外広告物講習会の開催

屋外広告業を営む場合に必要知識を習得していただくため、講習会を開催します。

- 定員/75人
- 開催日/11月29日(火)、30日(水)
- 場所/エル・パーク仙台5階セミナーホール1・2
- 受講手数料/4000円
- 申し込み/10月24日(月)から11月7日(月)まで
- ◎都市計画課 ☎022(211)3132

教員免許状(期限切れ失効)の再授与申請の受け付け

教員免許更新の手続きをしなかったため期限切れになり、失効した教員免許状の再授与の申請を受け付けています。

※詳しくは、県のホームページをご覧ください。

◎教員課 ☎022(211)3639

宮城県農業大学校 令和5年度入校生募集

農業大学校では、将来、県内で農業を職業とした、農業法人で働いてみたいという意欲を持った方を対象に、一般入校試験(前期)を実施します。

- 募集学部/①水田経営学部②園芸学部③畜産学部④アグリビジネス学部
- 募集人員/各学部若干名

県は、NPOの活動を支援するため、県が所有する遊休施設を、NPOの活動拠点として比較的安価な賃借料で貸し付けており、現在、白石市にある1施設について、借受団体を募集しています。

県からののお知らせ

各記事の詳しい内容は県にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

宮城県 県からののお知らせ 検索

みやぎの3R推進キャンペーン

10月は3R推進月間 食品ロス削減月間です

10月11日から20日まで「令和4年全国地域安全運動」を実施します。

この運動は、安全で安心して暮らせる地域社会実現のために、県民一丸となって行うもので、期間中は、県内各地で地域安全のためのキャンペーンなどが行われます。

日常生活や事業活動の傍ら、防犯の視点で「ながら見守り活動」を行ったり、家族間で特殊詐欺を話題に注意を呼びかけるなど、一人一人が防犯について意識することで、防犯の輪は広がります。力を合わせ、安全安心なまちづくりを進めましょう。

◎警察本部生活安全企画課 ☎022(221)7171(代表)

宮城県民間非営利活動施設借受団体の募集

県は、NPOの活動を支援するため、県が所有する遊休施設を、NPOの活動拠点として比較的安価な賃借料で貸し付けており、現在、白石市にある1施設について、借受団体を募集しています。

みやぎの3R推進キャンペーン

10月は3R推進月間 食品ロス削減月間です

10月30日はみやぎ県民食べせの日です おいしく楽しく食べよう!

買物の前に冷蔵庫を確認し、食べきれないほどの食材を買いすぎないようにしましょう

贈答品などが余ってしまう場合には、フードバンクなどへの寄付やお分けを検討しましょう

みやぎの食べきりモデル店舗を募集しています

県は、食べ残しを減らそうと取り組む県内の飲食店や宿泊施設を「みやぎの食べきりモデル店舗」として認定し支援する「みやぎの食べきりモデル店舗認定事業」を実施しています。

◎環境部生活安全企画課 ☎022(211)2649 Eメール junkan@pref.miyagi.lg.jp